

# 南浜中「働き方改革と部活動ガイドライン」について

令和8年4月1日

## 1 目的

教職員の心身の健康の維持増進を図り、生徒の成長を促す質の高い教育を行うため、現状の見直し・改善を図り、メリハリある働き方に改革する。

## 2 市教委の方針

### (1) 働き方改革行動計画の指標（新潟市教育委員会）

- ① 1か月の時間外在校時間について、45時間以下にする。
- ② 1年間の時間外勤在校時間について、360時間以下にする。
- ③ 1年間14日以上有給休暇を取得する教職員を増やす。

### (2) 部活動指導ガイドライン【R8年4月1日改定】

- ① 平日の部活動については、学校ごとに判断する。実施する場合は、原則として教員の勤務時間以内までとする。
- ② 週休日の部活動は行わない。

## 3 南浜中の基本方針

### (1) 勤務時間

- ・年間を通じて16：20放課後活動終了、16：30完全下校にする。
- ・一定の時間内で仕事を終わらせる習慣を学校文化にする。
- ・選択と集中で、効率的な働き方を目指す。
- ・職員の時間管理意識を高め、生徒の指導に反映させる。
- ・削減された勤務時間の有効活用を通して、教育の質の向上を図る。

### (2) 部活動（各部活動のR8年度中学校体育大会終了をもって、最後とする。）

- ・短時間で集中した練習に取り組みさせることで、意識と技能を向上させる。
- ・練習の意味や目的を考えさせることで、主体的に取り組めるようにする。
- ・短時間の集中した効率的な指導を実践できるよう、指導者の指導力向上を図る。
- ・積極的な休養で傷害を防ぎ、心身の健全な発達を目指す。

## 4 具体的な取り組み

### (1) 勤務時間に関連して

#### ① 閉店時間徹底

- ・緊急の対応や、やむを得ない業務を除き、年間を通じて17：15閉店
- ・放課後活動、部活動中止日は、ノー残業デー、17：00閉店
- ・時間内に仕事を終了させるためのアイデア、実践の交換、時間内終業の習慣化
- ・プロアクティブで、余計な仕事を作らない、軽減化する、無駄を省く体制の構築
- ・教頭先生に早く帰ってもらおう作戦の実施（教頭閉店17：30）

## ② 年休取得強化プロジェクト

- ・全職員が月1日程度の年次有給休暇をとる（長期休業中を除く）。

→ 全員が休むことで、お互い様の気持ちで対応する。

- ・お盆前後で5連続夏季休暇や年休を取得する。

→ お盆の前半・後半の2グループで5連続夏季休暇＋年休を取得し、7日以上の連続休暇をとる。この期間は会議や研修を一切入れない。

## (2) 部活動に関連して→部活動ガイドラインに沿って

### ① 休養日

- ・平日に必ず1日以上の休養日を設ける。休日は実施しない。

### ② 放課後顧問がつけない日

- ・職員会議や職員研修、中教研・南教研等、職員が誰もつけない日は放課後活動、部活動を中止する（安全確保と休養日の確保）。

### ③ 練習時間

- ・16時20分までに活動を終了し、16時30分には下校完了する。

- ・練習内容を工夫し、集中して取り組ませ、時間を有効に使わせる指導をすることで、練習の質を向上させる。

## 5 勤務時間外の電話対応について

### (1) 市教育委員会の方針（全市統一基準）

- ①平日は、勤務開始時刻から勤務終了時刻までとする（学校の実態を踏まえて設定）。

- ②休日等は、学校の電話の対応は行わない。

- ③長期休業日の電話対応可能時間は勤務時間内（8：10～16：40）とする。

### (2) 南浜中の対応について

◇全市統一基準に沿って対応しますが、

- ①朝の欠席連絡については、8：00～（職員朝会が8：10～のため）とします。

- ②勤務終了時刻が16：40になりますので、その時間までに連絡をお願いします。

16：40以降の緊急・重大事案のお電話は、関係機関へご相談ください。

- ③長期休業中の閉庁日は、原則電話対応いたしません。

◇その日のうちに報告、連絡、確認させていただきたい用件がある場合は、上記時間帯以外に学校から連絡させていただく場合があります。

◇上記電話対応時間以外であっても、必要な場合は関係機関と連携して対応します。

**皆様のご理解とご協力をお願いいたします**